

<申込方法> 各回ごとに 往復はがき または インターネット からお申し込みください

【往復はがき】 1枚のはがきで1名のみ。ご希望の講座（第〇回）・名前・ふりがな・住所・電話番号を明記して、下記の宛先までお送りください。
宛先：〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2
大阪市立中央図書館「大阪連続講座 第〇回」係

【インターネット】 図書館ホームページ
https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?key=jo914taxp-510#_510
にアクセスの上、各回の所定フォームからお申し込みください。
（各回の二次元コードは内面をご覧ください。）
※迷惑メール対策で受信メールの制限をしている場合、図書館からのメール（ドメイン名 oml.city.osaka.jp）が受信できる設定をお願いします。
設定方法の詳細は、お使いの携帯電話会社等へお問い合わせください。
※申込後、図書館からのメールが届かない方は 06-6539-3302 までお問い合わせください。

★申込締切： 第1回 6月22日(水曜日) 当日必着
第2回 6月29日(水曜日) 当日必着
第3回 7月6日(水曜日) 当日必着

★手話通訳ご希望の方は申込が必要です。
各回とも申込締切日までにご希望の講座（第〇回）・お名前・ご連絡先を明記して、手話通訳希望とお申し込みください。（FAX：06-6539-3335）

*いただいた個人情報、緊急時及び事業実施にかかるご連絡にのみ使用し、事業終了後すべて廃棄します。

- 図書館では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行って、催しを実施します。
 - ・ 参加予定者数に合わせて2倍以上の定員の部屋を用意します。
 - ・ 座席は、間隔をあけて配置します。
 - ・ 適宜、換気を行います。
 - ・ 開催前後に、使用した部屋のドアノブや机などの清拭を行います。
 - ・ 職員はマスクを着用します。また、フェイスガードを使用させていただく場合があります。
- 参加者の皆様は、以下のご協力をお願いします。
 - ・ 発熱がある、咳が出る、風邪症状があるなど体調不良の場合は来館をお控えください。
 - ・ ワクチン接種有無にかかわらず、マスクの着用をお願いします(2歳未満のお子様は不要です)。
 - ・ 入場前に、手洗いまたは、窓口に設置している手指用消毒液による消毒をお願いします。
 - ・ 体調の確認のため、開始前に会場での体温測定(非接触式電子温度計を使用します)へのご協力をお願いします。
 - ・ 大声での発声や会話はお控えください。
- 参加者の新型コロナウイルス感染が判明した場合は、個人情報を大阪府や保健所などに提出することがあります。

令和4年度大阪連続講座

なにわの言葉

—古代から現代へ語り継ぐ大阪弁—



古代から現代に至るまで、大阪という土地が培ってきた「なにわの言葉」。今年の大阪連続講座は、「なにわの言葉 -古代から現代へ語り継ぐ大阪弁-」と題し、古代難波の文字史料である木簡や、近世大坂で流行したことは遊び、大阪弁による語りの豊かさについて、3名の講師にさまざまな視点からお話いただきます。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止または延期する場合があります。

第1回 7月9日(土)

きいておくれやす 大阪の昔話・『わたしの空堀物語』

講師：田中 康子 氏 (たなかやすこおはなしかい主宰)

第2回 7月16日(土)

なにわのことは遊び—『浪花みやげ』の豊饒な世界へ—

講師：小野 恭靖 氏 (大阪教育大学教育学部教授)

第3回 7月23日(土)

「はるくさ木簡」と古代難波の文字史料

講師：栄原 永遠男 氏 (大阪市立大学名誉教授)

後日、大阪市教育委員会
YouTube チャンネルで
動画配信予定

各回ごとに 往復はがき または インターネット からお申し込みください

●時間： 午後2時から3時30分
(開場 午後1時30分)

●定員： 80名 (入場無料)

(事前申込・応募多数の場合は抽選)

●会場： 大阪市立中央図書館
5階大会議室



Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線
西長堀駅7号出口すぐ

▼主催・お問い合わせ▼
大阪市立中央図書館 利用サービス担当
〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2
電話：06-6539-3302
<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>



当館 HP お知らせページ

大阪検定協力事業

第1回 7月9日(土)

きいておくれやす 大阪の昔話・『わたしの空堀物語』

申込締切: 6月22日(水)
※当日必着

大阪弁による語り部の活動をするようになったきっかけや、自身が主宰する「おはなしさろん」「ちいちゃいおはなし会」の活動と冊子『おはなしのたび』の発行を通して知り得た大阪弁による語りの豊かさや、語りがもつ力について語ります。あわせて、大阪の昔話と自身の体験談『わたしの空堀物語』の語りの実演を行います。



当館 HP 第1回講座お知らせページ

田中 康子 (たなか やすこ) 氏
(たなかやすこおはなしかい主宰)

1937年大阪生まれ。大阪府立夕陽丘高校卒。大阪文学学校卒
1955年日本銀行大阪支店勤務
1975年からお話を始める
1996年たなかやすこおはなしかい主宰
2006年なにわ大賞受賞
季刊小冊子『おはなしのたび』発行 (No. 1 (1996.3)-no. 87 (2021.7)以後休刊)。『お話の風が吹く』(1995年、はびきのおはなしろうそくの会)、『お話の風を吹かそう』(2003年、編集工房ノア)、『三度戦争に行った父と私の物語』(2015年、たなかやすこおはなしの会)、『おはなしはたのしい (田中康子おはなしシリーズ 1~5)』(1996-2008年、田中康子)等の著作がある。

第3回 7月23日(土)

「はるくさ木簡」と古代難波の文字史料

申込締切: 7月6日(水)
※当日必着

古代大阪の中心の上町台地には二期にわたって難波宮が造営され、大化改新や奈良時代の政治の中心地でした。ここは高い土地柄のため、木簡などは出土しないと思われてきました。しかし近年「はるくさ木簡」をはじめ重要な木簡があいついで出土し、研究が進展しています。どのような木簡が出土し、何が重要なのか、問題点はどこにあるのか、じっくりお話ししたいと思います。



当館 HP 第3回講座お知らせページ

栄原 永遠男 (さかえはら とわお) 氏
(大阪市立大学名誉教授)

1946年 誕生
1969年 京都大学文学部卒業
1974年 京都大学大学院文学研究科博士課程単位習得退学
1975年 追手門学院大学講師、ついで助教授
1981年 大阪市立大学文学部助教授、ついで教授、大学院教授
2010年 同定年退職、名誉教授
2011年 東大寺史研究所所長 現在に至る
2014~20年 大阪歴史博物館館長、名誉館長
2020~22年 大阪市文化財協会理事長
『万葉歌木簡を追う』(2011年、和泉書院) 『聖武天皇と紫香楽宮』(2012年、敬文舎)等の著作がある。

第2回 7月16日(土)

なにわのことば遊びー『浪花みやげ』の豊饒な世界へー

申込締切: 6月29日(水)
※当日必着

江戸時代末期に大坂で出版された瓦版『浪花みやげ』から「判じ絵」「なぞ」「文字遊び」等のことば遊びを取り上げ、それぞれについて解説した後、クイズ形式で問題を解き、楽しみながら頭の体操をしていただきます。脳トレーニングを行いながら、私たちの愛する日本語の奥深さと面白さを再認識しましょう。



当館 HP 第2回講座お知らせページ

小野 恭靖 (おの みつやす) 氏
(大阪教育大学教育学部教授)

1958年、静岡県生まれ。早稲田大学大学院博士後期課程修了。現在、大阪教育大学教授。博士(文学)。専門は日本歌謡史・芸能史・演劇史、日本中世・近世文学、ことば遊びの史的研究。『さかさことばのえほん』(鈴木出版)で第57回産経児童出版文化賞のフジテレビ賞を受賞。NHK大河ドラマの歌謡監修やフジテレビのペケ☆ポンの川柳監修を務めた。また、NHK教養バラエティ番組『日本人のおなまえっ!』や『ラジオ深夜便』『私の日本語辞典』他、多数のマスコミ出演経験を持つ。

関連企画

Webギャラリー「なにわの言葉」

6/1(水) ~ 8/31(水)

近世大坂の文芸資料と大正・昭和初期の絵葉書にみる大阪弁について、当館所蔵の資料よりご紹介します。

★大阪市立図書館デジタルアーカイブにて公開

3階ケース展示「なにわの言葉」

6/17(金) ~ 9/14(水)

近世から現代までの大阪の文芸資料や絵葉書、カルタ等に見る大阪弁について、当館所蔵の資料よりご紹介します。

【場所】中央図書館3階閲覧室(エレベータ前)



大阪市立図書館デジタルアーカイブ『しんぱんー口ばなし』



大阪市立図書館デジタルアーカイブ
「大阪名物ことば」大阪名所住吉神社／築港」